

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、
京都大学の今西錦司らが初めて
ニホンザルの調査をおこないました。
これにちなみ、12月3日を
「世界ニホンザルの日」とします！

世界ニホンザルの日



Celebrate World Japanese Macaque Day on December 3!

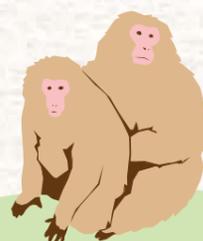
写真：高崎山自然動物園 提供
A群(奥)とC群(手前)の抗争。1996年撮影。※2022年度現在は、B群・C群の2群体制となっています。

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、京都大学の今西錦司らが初めてニホンザルの調査をおこないました。これにちなみ、12月3日を「世界ニホンザルの日」とします。ニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中でもっとも北に生息し、霊長類の多様性を象徴する動物です。生態や社会から医学まで、霊長類学に多くの知見をもたらしてきました。絶滅が心配される地域もあれば、ヒトとの軋轢が生じている地域もあり、ヒトと野生動物の共存について考えさせてくれる存在でもあります。「世界ニホンザルの日」を、このようなニホンザルの魅力を知り、関心を高め、保全や飼育下の福祉向上について考える日にしましょう。

大分市の高崎山では、幸島に次いで1952年頃から餌付けが始まり、京都大学の伊谷純一郎らによる調査もおこなわれました。そこで2022年のポスターは、高崎山の写真をお借りして制作しました。



関連イベントなどは
Webサイトをご覧ください https://bit.ly/JMC_WJMD
関連イベント、ポスター掲載レポート募集中！



世界ニホンザルの日 2022実施事務局
日本モンキーセンター JAPAN MONKEY CENTRE
愛知県犬山市犬山官林26
TEL 0568-61-2327